

令和4年度弘前市健康とまちのにぎわい創出支援業務 公募型プロポーザル 質問回答書

No.	受付日	質問項目	質問内容	回答
1	7/15	参考見積の対象年度について	次年度以降は不確定要素が大きいと想定されるため、参考見積は今年度分のみの作成で良いか。	令和5年度及び令和6年度については、実施要領項目2に記載のとおり、業務に要する費用（事業費限度額）を各年度 35,000,000 円の予定としています。また、実施要領項目6(3)②に記載のとおり、企画提案書等の作成に当たっては、3か年での取組内容について、年度毎に分かるように記述することとしています。このため、事業費限度額の範囲内で、両年度の参考見積書及び参考見積内訳書を作成してください。
2	7/15	弘前大学COIとの役割分担について	弘前大学COIと連携して行う事業（参考見積概ね11,500千円分）は、受託者が弘前大学に委託する想定か。	QOL健診については、受託者から青森県医師会附属健やか力推進センターに委託し、健康プログラムについては、受託者からの委託に限らず、弘前大学COI参画企業等と連携して実施することを想定しています（実施要領項目6(1)②イも参照。）。
3	7/15	様式3、4、6について	当該様式に「技術者」や「資格名」とあるが、具体的に想定している資格はあるか。また、想定している資格がある場合、当該資格を有していないければ選考の対象外となるか。	具体的に想定している資格はありませんが、実施要領項目3(1)に記載の実績や専門的知見及び業務体制を有していることについて、関係様式に記載し明示してください。